

学習評価と今日的な教育課題について



HOKKAIDO
BOARD OF
EDUCATION

令和5年7月26日(水)

北海道教育庁渡島教育局義務教育指導班

はじめに

はじめに

■ 小・中学校学習指導要領 第1章 総則

○ 学習評価の充実

児童生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、**単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価**し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。

指導と評価の一体化の必要性を明確化

はじめに

■ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善と評価

「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を通して各教科等における資質・能力を確実に育成する上で、学習評価は重要な役割を担っている

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、**教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り学習や指導の改善に生かしていく**というサイクルが大切

特に、「主体的に学習に取り組む態度」の評価に当たっては、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図る中で適切に評価できるようにしていくことが重要

はじめに

■ 学習評価における課題

- 学期末や学年末などの事後での評価に終始してしまうことが多く、評価の結果が児童生徒の具体的な学習改善につながっていない
- 「関心・意欲・態度」の観点について、挙手の回数や毎時間ノートをとっているかなど、性格や行動面の傾向が一時的に表出された場面を捉える評価であるような誤解が払拭しきれていない
- 教師によって評価の方針が異なり、学習改善につなげにくい
- 教師が評価のための「記録」に労力を割かれて、指導に注力できない
- 相当な労力をかけて記述した指導要録が、次の学年や学校段階において十分に活用されていない

先生によって観点の重みが違うんです。授業態度をととても重視する先生もいるし、テストだけで判断するという先生もいます。そうすると、どう努力していけばよいのか本当に分かりにくいんです。

(中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会児童生徒の学習評価に関するワーキンググループ第7回における高等学校三年生の意見より)



学習評価の基本的な考え方

学習評価

■ 学習評価の改善の基本的な方向性

- ① **児童生徒の学習改善につながるもの**にしていくこと
- ② **教師の指導改善につながるもの**にしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、**必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと**

■ 妥当性

〔学力検査〕

測りたいと思った学力を的確に測ることができる

現在の時刻を知りたい

時計を使う

時刻が分かる

妥当性がある

ストップウォッチを使う

時間を図れるが時刻は分からない

妥当性がない



特定の検査が測定しようとしているものをどれくらい的確に測定できているかことが大切

学習評価の役割

学習評価の役割

■ ガイダンス的な機能の充実

評価の規準や方法について、教師と児童生徒及び保護者で共通理解を図ること

教師

各教科等において身に付けるべき資質・能力の具体的なイメージをもたせる

保護者説明会等において、学習評価に関する説明を行う

児童生徒

児童生徒は学習の見通しをもち、自らの学習の調整を図るきっかけとする

保護者

保護者との共通理解の下で児童生徒への指導を行っていくことにつながる

学習評価の役割

ガイダンス的な機能を活かした実践例 1

第1章 式の計算 No. 1

観点	評価標準	B 標準	A 標準	評価方法
①	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 具体的な事象の中の数量の関係を表した式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 文字式で数量及び数量の関係を表し説明できることを理解している。 目的に応じて、簡単な式を变形することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な文字式の加減乗除ができる。 文字を用いて簡単な数量関係を式に表すことができる。 ある文字について解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 複雑な文字式の加減乗除ができる。 文字を用いて複雑な数量関係を式に表すことができる。 複雑な式変形ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題への取組 テスト(小・単元) 定期テスト 重要ノート
②	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学的性質を、文字を用いて説明することができる。 数量関係を理解し、文字を用いて表したり、読み取ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学的性質の説明に、有効に文字を用いることができる。 複雑な文字式から意味を読み取れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 各定期テスト テスト(小・単元) 授業観察 重要ノート
③	<ul style="list-style-type: none"> 文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。 文字を使った式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 文字を使った式を活用して問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を使用することの有用性について考えようとしている。 具体的な問題に文字式を活用し、計算過程を工夫しながら解決の過程を検討しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字を使用することの有用性を理解し、活用する。 問題解決に有効に文字を利用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題への取組 テスト直し 学習カード 重要ノート 授業観察

日付	時	学習内容	今日の課題	今日わかったこと or わからないこと	小テスト	授業
	1	多項式と単項式 式の次数	自己評価(A・B・C・D)			
	2	同類項 式の加法	自己評価(A・B・C・D)			
	3	式の減法	自己評価(A・B・C・D)			
	4	多項式と数の乗法、除法	自己評価(A・B・C・D)			

数学科の学習カード
A評価について
評価場面を明示しています。

音楽科のシラバス
年間の計画で、内容のまとめ(単元)をはっきりさせています。

5. 授業の内容 (変更する場合があります)

時数	授業内容	時数	授業内容
1	オリエンテーション	24	赤とんぼ
2	校歌(歌唱)	25	日本とアジアの声によるさまざまな表現(鑑賞)
3		26	
4	実技テスト(前期分)	27	
5	春 第1楽章(鑑賞)	28	
6		29	等を弾く(楽器)
7	合唱コンクールオリエンテーション	30	
8	合唱候補鑑賞	31	
9	魔王(鑑賞)	32	
10		33	実技テスト(後期分)
11		34	六段の調(鑑賞)
12	夏の思い出(歌唱)	35	
13		36	
14	合唱練習方法伝授	37	日本の情緒を生かした編曲をつくらう(創作)
15	合唱練習(音取り)	38	
16		39	旅立ちの日に(歌唱)
17	合唱練習(表現を高める)	40	
18		41	卒業式在校生合唱練習(歌唱)
19		42	
20		43	
21	振り返り	44	
22	実技テスト(後期分)	45	定期テスト2回分
23	赤とんぼ(歌唱)		

更に、まとめごとに授業の目標やキーワードが明示されています。

弦楽器の豊かな表現を鑑賞しよう

38~42P

1年 組 番 名前

この曲のQRコード
詳しくは参考に

1回目 目標
曲の構成を鑑賞して鑑賞することができる。

2回目 目標
音楽と詩が合う理由を説明することができる。

基本アイデア

作曲家/生没年	アントニオ・ヴィヴァルディ 1678~1741 69歳
時代/出身国	バロック イタリア
大まなリズム/名調/楽種	Allegro アレグロ 速く

★1回目・曲の最初部分を通して、どのような感じがしましたか？

学習評価の役割

ガイダンス的な機能を活かした実践例 2

オリジナルの歌詞にメロディーをつけよう①

今回の単元について

身近なポピュラー音楽には、たくさんの種類があります。特に日本で開発された VOCALOID(ボーカロイド、略してボカロ)は、今や世界中で人気の音楽です。今回、ボーカロイド教育版を使って、自分で作ったオリジナルの歌詞にメロディーをつけ歌をつくり、世界に一つしかない「ボカロ・マイソング」をみんなに発表しましょう。

学習目標

- 1時間目 ボーカロイド教育版の基本操作を学ぶ。
- 2時間目 伴奏に合ったメロディーの作り方を学習し、8小節の歌をつくる。
- 3時間目 ブラッシュアップ(音楽の磨き上げ)する。つくった作品を発表し、評価し合う。

学習課題

『この時間で何を学ぶか』
○ボーカロイド教育版を使って歌づくりの基本を学ぼう
『この時間で何ができるようになるか』
・歌づくりに興味や関心をもって取り組む
【・ツールの使い方 ・音の並べ方 ・言葉のつけ方(歌詞の入力) ・音声の変更 ・コードの和音つけ(伴奏つけ)]を習得する

～今日の授業を振り返ろう～

①ボーカロイド教育版を使って歌づくりの基本を学ぶことができましたか [◎ ○ △]

②歌づくりに興味や関心をもって、取り組むことができましたか [◎ ○ △]

③次のうちで、わかったものに○をつけましょう。[4つともできたらバッチリ]
音の並べ方 言葉のつけ方 音声の変更 伴奏選び音の置き方

まとめ、創作を通して「感じたこと」「考えたこと」「わかったこと」「次回へつなげたいこと」

単元のゴール
(目標)の明確化

単元の見通し

身近なポピュラー音楽には、たくさんの種類があります。特に日本で開発された VOCALOID(ボーカロイド、略してボカロ)は、今や世界中で人気の音楽です。今回、ボーカロイド教育版を使って、自分で作ったオリジナルの歌詞にメロディーをつけ歌をつくり、世界に一つしかない「ボカロ・マイソング」をみんなに発表しましょう。

ルーブリック表

1 創作に関する事 (知識・技能に関する事)				2 発表に関する事 (思考・判断・表現に関する事)	
①知識	②技能 (言葉のリズム)	③技能 (和音)	④技能 (その他)		
A	コード進行、音のつながり方の特徴、反復、変化、対照の5つすべてを理解している。	1小節に8文字以内の言葉で、8小節すべて構成されている。	8小節すべて和音のコード進行でつくりられている。	表したいイメージを旋律のつながり、反復、変化、対照	作品に対する想いや意図を、音楽の構造や音楽の要素を用いて、具体的に発表することができる。
B	この2つのうち1つを理解している。	この2つのうち1つを構成している。	この2つのうち1つを構成している。	この2つのうち1つを表現している。	この2つのうち1つを表現している。
C	この2つのうち1つを理解していない。	この2つのうち1つを構成していない。	この2つのうち1つを構成していない。	この2つのうち1つを表現していない。	この2つのうち1つを表現していない。
D	コード進行、音のつながり方の特徴、反復、変化、対照の特徴を理解していない。	1小節8文字以内の言葉で、構成することができていない。	和音のコード進行でつくりされていない。	表したいイメージをもつこと、曲の構成を用いてつくりすることができない。	作品に対する想いや意図を、音楽の構造や音楽の要素を用いて、発表することができない。もしくは、提案と根拠が合っていない。

〔評価基準〕

単元の始めに生徒と共有を図ることにより、目指す姿のイメージをもつことができる。

学習評価の役割

■ カウンセリング的な機能の充実

児童生徒の自己評価と教師の評価を結び付けること

教師

児童生徒に評価の結果をフィードバックする際、どのような方針で評価したのかを改めて共有する



児童生徒

児童生徒は次の学びにつなげようとする

「教科相談」を実施し、生徒が各教科の学習の進め方について教科担任と面談する機会を設定しています。

(令和5年度 第1回渡島管内E B E協議会 実践発表 (北斗市立浜分中学校) より)

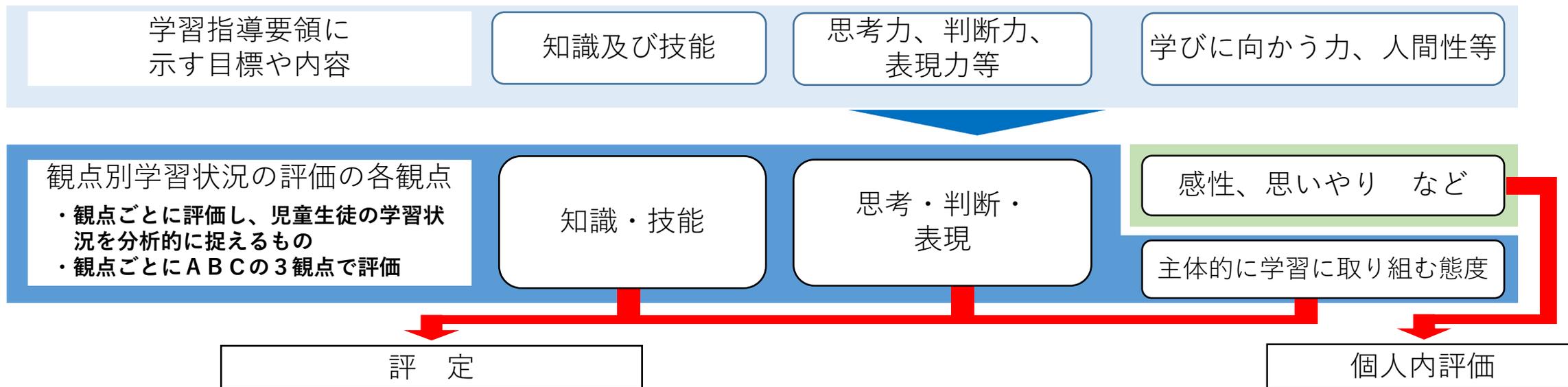


評価規準と評価基準

指導と評価の具体

各教科の評価については、学習状況を分析的に捉える「観点別学習状況の評価」と、これらを総括的に捉える「評定」の両方について、学習指導要領に定める目標に準拠した評価

図【評価の基本構造】



感性や思いやりなど観点別学習状況の評価や評定には示しきれない児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況については、「個人内評価」として実施

学習評価

目標に準拠した評価

- **学習指導要領に示す目標に照らして、その実現状況を評価**
- 観点別学習状況の評価と評定の両方を、目標に準拠した評価として実施
- **評価規準は各学校が設定**

観点別の学習状況した評価

- 各教科・科目の**目標や内容に照らして、観点ごとに評価**し、生徒の学習状況を分析的に捉える

総括的な評価としての評定

- 評定についても**目標に準拠した評価**

評価基準

令和5年度 渡島市町教育研究所 説明スライド

ルーブリック

- ・成功の度合いを示す数値的な尺度あるいは評語

評価基準

- ・全体評価を行うための「ものさし」

(例) バスケットボール [小学校第6学年]

目標

- ・バスケットボールのゲームをできるようになる

評価基準

- ・ゲームで20点以上取る
- ・ゲームで2回シュートを決める
- ・ゲームで10回連続ドリブルをする

評価基準の妥当性

■ (例) バスケットボール [小学校第6学年]

目標

- ・バスケットボールのゲームをできるようになる

評価基準

- ・ゲームで20点以上取る
- ・ゲームで2回シュートを決める
- ・ゲームで10回連続ドリブルをする

■ 学習指導要領に示す内容

内容〔知識・技能〕

ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをしている

評価規準

- ・ゴール型運動の行い方について、言ったり書いたりしている。
- ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。
- ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。
- ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどを行うことができる。

評価基準の妥当性

■ (例) バスケットボール [小学校第6学年]

目標

- ・バスケットボールのゲームをできるようになる

評価基準

- ・ゲームで20点以上取る
- ・ゲームで2回シュートを決める
- ・ゲームで10回連続ドリブルをする

■ 学習指導要領に示す内容

評価規準

- ・ゴール型運動の行い方について、言ったり書いたりしている。
- ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。
- ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。
- ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどを行うことができる。

評価基準

評価規準と評価基準

事例1 小学校第6学年 国語

単元名

「修学旅行の訪問先についてパネルディスカッションをしよう～立場や意図を明確にして話し合い、考えをまとめる～」

単元の目標

〔思考力、判断力、表現力等〕A（1）イ

話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。

単元の評価規準

〔思考力、判断力、表現力等〕A（1）イ

「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。

評価規準と評価基準

事例1 小学校第6学年 国語

本時の評価規準

パネルディスカッションをするために、立場や考えが明確になるように事実と感想、意見とを区別して話の内容を組み立てることができる。

本時の評価基準

自分たちの観点（立場）：
主張（パネリストが話す内容を組み立てよう）
<input type="checkbox"/> 自分たちの立場 わたしたちは、「 観点（立場） 」ことから、「 担当の訪問先 」をおすすめします。
<input type="checkbox"/> ① どのような場所・何ができる・何がある（しおり、事前学習より）
<input type="checkbox"/> ② 自分たちの体験から
<input type="checkbox"/> ③ 最後にもう一押し
資料提示のタイミング（①～③のどこで使うか）

〔ワークシート〕

評価規準と評価基準

事例1 小学校第6学年 国語

本時の評価規準

パネルディスカッションをするために、立場や考えが明確になるように事実と感想、意見とを区別して話の内容を組み立てることができる。

本時の評価基準

- ・ 事実や感想、意見が関連付けて組み立てられていることができる。
- ・ 事実、感想、意見の内容を全て踏まえて組み立てられていることができる。
- ・ 事実、感想、意見のいずれかの内容が欠落している。

自分たちの観点（立場）：
主張（パネリストが話す内容を組み立てよう）
④自分たちの立場 わたしたちは、「 観点（立場） 」ことから、「 担当の訪問先 」をおすすめします。
④①どんな場所・何ができる・何が来る（しおり 事前学習より） 事 実
④②自分たちの体験から 感 想
④③最後にもう一押し 意 見
資料提示のタイミング（①～③のどこで使うか）

〔ワークシート〕

■ 事例2 中学校第1学年 数学〔一元一次方程式〕

単元の目標

〔知識・技能〕

一元一次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。

単元の評価規準

〔知識・技能〕

- ・ 方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。
- ・ 簡単な一元一次方程式を解くことができる。
- ・ 事象の中の数量やその関係に着目し、一元一次方程式をつくることができる。

評価規準と評価基準

事例2 中学校第1学年 数学〔一元一次方程式〕

単元の評価規準

- ・ 方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解している。
- ・ 簡単な一元一次方程式を解くことができる。
- ・ 事象の中の数量やその関係に着目し、一元一次方程式をつくることのできる。

〔単元末の小テスト〕

単元の評価基準

折り紙を何人かの子どもに配ります。1人に5枚ずつ配ると9枚足りません。1人に3枚ずつ配ると15枚余ります。このときの子ども的人数と折り紙の枚数を求めなさい。

- (1) 子ども的人数を x 人として、方程式をつくりなさい。
- (2) (1) でつくった方程式はどのような数量の関係を表していますか。
- (3) 折り紙の枚数を x 枚として次のような方程式をつくりました。また、この方程式はどのような数量の関係を表していますか。

$$\frac{x+9}{5} = \frac{x-15}{3}$$

主体的に学習に取り組む態度

学びに向かう力、人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか



学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

試行錯誤の段階を経て、様々な学びの進め方や思考
ツールなどを知り、経験していくこと

資質・能力を働かせていく方向性を決める要素



**メタ
認知**

学びに向かう力
自己の思考の過程等を客観的に捉える力など

主体的に学習に取り組む態度

■ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

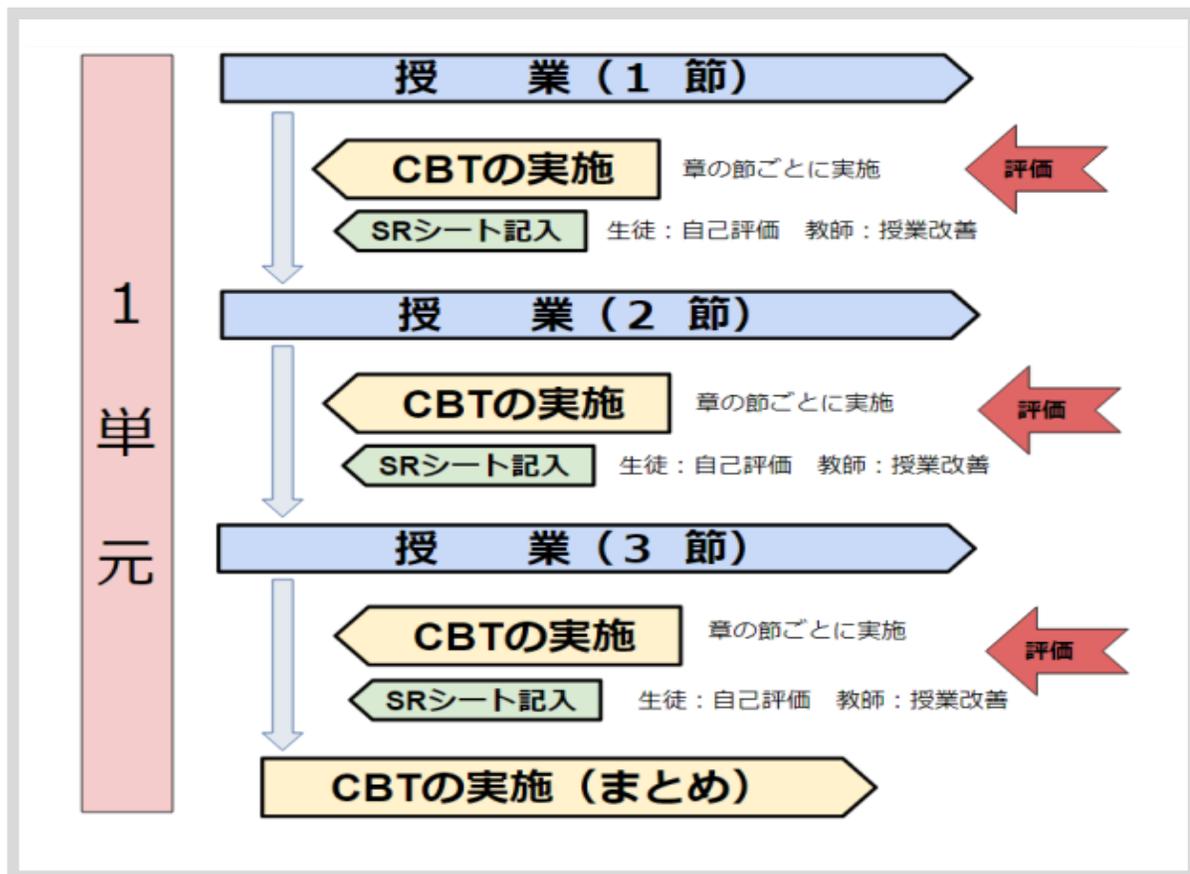
○ 「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえた上で評価



- ・ ノートやレポート等における記述
- ・ 授業中の発言
- ・ 教師による行動観察
- ・ 児童生徒による自己評価や相互評価等の状況を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして活用

主体的に学習に取り組む態度

事例3 中学校第1学年 数学〔平方根〕



〔CBTの活用例（1単元3節の場合）〕

※CBT：Computer Based Testing（コンピュータを用いて行うテスト）

※SRシート：Self Regulated（「主体的に学習に取り組む態度」を見取るためのシート）

- 各節の終了後にCBTを実施
- CBT終了後にCBTの結果を振り返りながら、SRシートを記入
- 節ごとに繰り返し実施するとともに、単元終了後にこれまで記入したSRシートの記述内容をもとに、章のまとめとして、SRシートに改めて記入

CBTの結果を活用するなど、生徒自身の思考の過程や、学習に対する自己調整に係る内容を客観的に捉えることができるよう、工夫すること大切です。



主体的に学習に取り組む態度

事例3 中学校第1学年 数学〔平方根〕

単元の評価規準

- ・ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。〔知技〕
- ・ 既に学習した計算の方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。〔思判表〕

R4_小テスト 2章 平方根 2節 (根号を含む計算)

(1) 分母に根号がない形に表すことを、分母を()するとう。 ()に当てはまる言葉を漢字で入力しなさい。 10ポイント

回答を入力

(3) 次の計算をしなさい。 10ポイント

$$\sqrt{12} \times \sqrt{20}$$

〔節終了後のCBT〕

「自己調整学習」

氏名「 」		
章	節	自己調整 (課題の克服のための工夫を含め)
2章 平方根	2 根号を含む式の計算	$\sqrt{3} \times \sqrt{6} = \sqrt{3} \times \sqrt{3} \times \sqrt{2}$ と考えれば $\sqrt{18}$ から $a\sqrt{b}$ の形に変える手間を省いて $3\sqrt{2}$ と導ける。このように計算の途中、ほんの少し工夫をして手間を省くようにした。
	3 平方根の利用	今回、テスト前ということもあって自分だけでもやらなければならぬと思い、予習を多めに行った。ワークにある類似問題や過去問の解説を見たり、友達に聞いてみたりして大体の内容を掴んでから授業を受けた。

〔SRシート記述例〕

1人1台端末を活用した学習状況の把握

事例4 (愛知県春日市立高森台中学校)

取り組んだ問題について
・個別学習のときに取り組んだ問題を、すべて選びましょう。

「 $\sqrt{\quad}$ の数を変形する」について *

- A問題
- B問題
- C問題
- 問題集
- 教科書の問題

難易度別に問題を準備
→各自で選択

	①A問題_因数分解 (共通... Google フォーム		②A問題 Google フ
	③B問題_因数分解 Google フォーム		④C問題 Google フ
	P21~解答集 Google フォーム		

答え合わせ後の達成度評価

問題の達成度はどうですか？ *

- 自分の解き方と答えは正しく、理解できている。
- 自分の解き方は正しかったが、答えは間違っていた。
- 自分の解き方は間違っていたが、模範解答を見て解き方を理解することができた。
- 模範解答を見たが、理解することができなかった。
- その他: _____

問題に取り組んだ後の自己評価

自己評価しよう

この問題への取り組みを振り返り、自己評価しましょう。 *

- 自分の力で問題を解くことができた。
- 教科書やノートで調べながら、自分の力で問題を解くことができた。
- 先生や友達に教えてもらいながら、問題を解くことができた。
- 努力をしたが、問題を解くことができなかった。
- その他: _____



生徒一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供し、生徒自身が最適な学習に向けて調整する学びの過程を位置付けることが大切です。

1人1台端末を活用した学習状況の把握

事例5 (愛知県春日市立高森台中学校)

学習状況の可視化

	できた	できなかった
得意	<p>p.126二等辺三角形の性質の証明①</p> <p>p.127二等辺三角形の定義と名称</p> <p>p.128二等辺三角形の性質を使って角度を求める</p> <p>p.137直角三角形の合同条件</p> <p>p.132正三角形の定義と性質</p> <p>二等辺三角形の性質を使った証明</p> <p>証明を書く</p>	<p>p.134正三角形の性質を使って角度を求める</p>
苦手	<p>p.131ことごとからその逆、</p> <p>p.138直角三角形の合同条件を使った証明</p> <p>証明のことごとから、仮定と結論</p> <p>証明の見通しを立てる</p>	<p>p.129二等辺三角形になる条件</p> <p>反例</p> <p>性質や理由を説明すること</p>

学習内容を記録した付箋を毎時間取りためておきます。



単元や学習のまとめごとに、取りためた記録を分析して、感想や改善点等を記入します。

■ 分析結果から (感想や改善点など)
 ➔ 意外と得意&出来たのところが多くてよかった。けど解くことは出来たけど得意とは言えないような問題も結構多かったから苦手&できたの所は放課後とかに問題を解いて得意&できたの所に移動させたい。また、苦手&できなかったの所のは本当に苦手すぎてやる気が起きないから放課後と冬休みにまとめて取り組もうと思った

おわりに

おわりに

■ 主な役割

- 教師が指導の改善を図ること
- 子どもが自らの学習を振り返って、次の学習に向かうことができるようにすること

教師の勤務負担軽減を図りながら学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、学校全体としての組織的かつ計画的な取組を行うこと

【考えられる取組の例】

- ・ 教師同士での評価規準や評価方法の検討、明確化
- ・ 実践事例の蓄積・共有
- ・ 評価結果の検討等を通じた教師の力量の向上

学習評価と今日的な教育課題について

